

おんべつ支所だより

社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会音別支所
URL: <http://www.kushiro-city-shakyo.or.jp/>
〒088-0115 釧路市音別町本町3丁目50番地
音別町社会福祉会館 電話 6-2941

報告!!

「バリアフリー」について考えました!!

～ ボランティアセンター音別 ～

本会では、やさしさ・思いやりの気持ちを育む「福祉教育」に力を入れています。

11月30日(木)および12月4日(月)、音別小学校3・4年生(児童12名)の「総合的な学習の時間」において車いす体験を行い、小学校内や社会福祉会館、行政センター、保健センターなどの公共施設を廻り、バリアフリーの施設を体験しました。

音別小学校3・4年生では、7月にも釧路身体障害者福祉協会音別分会の会員さんとパラスポーツ「ボッチャ」をとおした交流や、児童から会員さんへの質問や疑問にお答えいただく時間を設けたところ、その後の授業で児童が「バリアフリーデザイン」に興味を持ち、今回の授業へと繋がったところでした。



▲ 社会福祉会館のトイレ

児童からは「バリアフリーの施設は車いすで移動しやすかった」「自動ドア、エレベーターがあり楽しかった」といった感想があったほか、「車いすで階段をのぼれますか」「スロープがないとき、どうするのですか」「エレベーターがなくて、上に行きたいときはどうするのですか」といった質問もありました。

児童からは「バリアフリーの施設は車いすで移動しやすかった」「自動ドア、エレベーターがあり楽しかった」といった感想があったほか、「車いすで階段をのぼれますか」「スロープがないとき、どうするのですか」「エレベーターがなくて、上に行きたいときはどうするのですか」といった質問もありました。

▲ 行政センターのカウンター

誰にとっても使いやすい「バリアフリーデザイン」ですが、障がいのある人もない人も、子ども大人も高齢者も、みんなが暮らしやすい社会をつくっていくためには、設備を整備するだけではなく、お互いに理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合い、助け合う「心のバリアフリー」が必要になってくるのではないでしょうか? 質問に答えていく中で児童に問いかけ、授業を終えました。

3学期、児童たちは、これまでの体験のまとめ学習を行うということです。

バリアフリーデザイン + 心のバリアフリー
= みんなが暮らしやすい社会

『おんべつ支所だより』は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。



音別支所
(本町3丁目 社会福祉会館内)

6-2941

ふれあいネットワーク
社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会

報告!!

身障協会音別分会 ニュース!

浦幌町の会員皆様と「ボッチャ」で交流!

釧路身体障害者福祉協会音別分会（椎名美和子会長・会員14名）では、12月6日（水）、会員研修会を開催し、9名の会員が参加しました。

当会では、昨年よりパラスポーツ「ボッチャ」に力を入れているところであり、この度の研修では、十勝管内浦幌町において、「ボッチャ」に精力的に取り組んでいる、身体障

障害者会浦幌町分会の活動「ボッチャ練習会」を訪れ、近隣の身障分会の活動状況を見学させていただいたほか、会員皆様とパラスポーツ「ボッチャ」とおした交流を行うことができました。



報告!!

音ボ連 ニュース!

「子供もちつき大会」に協力!

音別町ボランティア連絡協議会（西川千鶴会長・会員27名）では、12月9日（土）、音別町文化会館において、音別町地区連合町内会主催「子供もちつき大会」へ会員10名が協力しました。

当日は、餅つきの“合い取り”や、きな粉・あんこ・雑煮などの調理等を担当

し、終了後の参加者に振舞いました。

このほかにも、当会では落まつりにおける落汁の炊き出しなど、町内各種イベントに協力しています。



現在、身障協会音別分会、音ボ連では会員を大募集中です!

私たちと一緒に活動しませんか?

ご興味のある方は、是非事務局(社協音別支所内)までご連絡ください!!

記事に関するお問合せは・・・



6-2941

音別支所(本町3丁目 社会福祉会館内)まで...

【令和6年1月発行】釧路市社会福祉協議会音別支所